

『近衛 忠輝 社長が佐賀県支部を訪問！』

7月24日(日)、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)の会長を務める近衛 忠輝 日本赤十字社社長が佐賀県支部を訪れ、県内のユースボランティア(JRC 高校生メンバー・青年奉仕団員)と交流会を行いました。

まず、ボランティア、支部職員から、佐賀県支部の取り組みや活動内容の発表を行った後、社長から出席者に向けたメッセージをいただきました。

「赤十字の成り立ちとこれまでの変遷」「現在190カ国で展開される人道支援の概要」など、日赤社長・IFRC会長から直に、とても新鮮で貴重なお話を聞くことで、メンバー達の気持ちも高揚し、これからの活動に対する誓いを新たにしました。

会の終わりに、高校生メンバーから出た質問に対し、「赤十字はこれからの時代を担う若い人たちの意見を積極的に取り入れ、混沌とする国際情勢、多発する自然災害などから人々の生命を守るために、今何をすべきなのかしっかりと考えていきたい。」と述べられました。



挨拶をされる近衛社長



近衛社長の話を真剣に聞くユースボランティア



近衛社長に質問をする JRC 高校生メンバー



ユースボランティアに質問をする近衛社長



交流会の様子



佐賀県支部の取り組みを紹介する職員



交流会終了後に参加者全員で集合写真

※ この件に関する Facebook ページはこちら↓

<https://www.facebook.com/jrcsaga/>